

ヒラメ種苗を放流

日釣振神奈
川県支部

豊かな釣り場づくり

【横須賀】日本釣振興

会神奈川県支部は12日、

「育てよう豊かな釣り場」

づくりを掲げ、神奈川県

横須賀市長井町地先の海

に計5000尾のヒラメ

種苗を放流した。体長6

センチ以上に育った稚魚を神

奈川県栽培漁業協会が購

入し、同支部に供給した。

4000尾はJF長井

町漁協所屬の漁業者が、

1000尾は地域の振興

を旨として活動する「地域の未来を考える会」が行った「荒崎海岸クリーンフェスタ2016」参加の親子連れらが放流した。



稚魚の放流に参加した小さな子供たち

放流に先立ち同協会の今井利為専務は、ふ化したあとのヒラメの稚魚の成長の様子を説明し、「協会は年間25万〜30万尾のヒラメ種苗を放流している。1年で30センチ、2年で40センチに育つ成長の速い魚で、大きくなってと声を掛けて丁寧に放流してください」と話した。同フェスタに参加した子供たちや未来を考える会、振興会神奈川支部、協会職員らのバケツリレーで稚魚を渡し、3台の放流台を使って放流した。